

心疾患の プレコンセプションケア

企画：石津智子

(筑波大学医学医療系 循環器内科 准教授)

最近、『プレコンセプションケア』という言葉を目にする機会が増えていませんか。コンセプション＝妊娠ですが、プレコンセプションケアとは、「妊娠前から自身の健康をケアする」という意味で用いられます。子供を産み育てたい女性の相談に妊娠前から医療として関わる取り組みとして、プレコンセプションカウンセリング外来の設置が日本の先進的な施設では始動しています。

周産期医療の先進国である本邦にあっても、妊娠分娩は母児ともに様々なリスクと隣り合わせです。特に、心血管疾患は周産期の母体死亡の主要な要因の一つでもあります。すなわち“プレコン”の中でも、循環器は大変重要な役割を担っているのです。

高血圧の治療、小児科医療の進歩によって心疾患を持った女性の増加、症候群性の大動脈拡張症への遺伝診断学的アプローチ、治療により劇的に予後の改善している肺高血圧症、カテーテル治療の進歩で生体弁の選択肢がますます増えている弁膜症などの分野で、最先端の医療を駆使した妊娠管理のためには妊娠前から十分な準備が重要です。

本特集では、この領域を牽引されておられるプレコンの第一人者の先生方に執筆をお願いしました。日々の一般循環器診療での妊娠にまつわる患者の不安や質問への対応に苦慮されている医療者の皆様にこの特集がきっと多くのヒントを与えてくれることを願っています。



HEART's Selection